

令和3年度 学校評価表

| | | |
|--------|---------------------|------------------|
| 学校経営目標 | ふるさとに根ざし 未来を拓く教育の創造 | ～自ら伸びる 共に育つ 筒賀小～ |
| 学校教育目標 | 笑顔生み出す児童の育成 | ～感じる 考える 実行する～ |

| 目標 | | 実践 | | 評価 | |
|----------|---|---|--|-----|-----|
| 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価項目（評価方法） | 目標値 | |
| | | | | 中間 | 最終 |
| 確かな学力（知） | <p>○確かな学力を身につけ、主体的に学び合える児童の育成</p> <p>【1】</p> <p>○基礎学力を高める。</p> | <p>①読む活動と書く活動をつなぎ、自分の考えを適切に表現させる場面を意図的に設定する。</p> <p>②東京書籍データベースの活用、個人カルテをもとにした補充指導を通して基礎学力の定着を図る。</p> | <p>・国語科のEXテストの結果、全国平均以上の児童の割合</p> <p>・単元末評価テストの結果、全国平均以上の児童の割合</p> <p>・標準学力検査の結果が、全国平均比以上の児童の割合</p> | 70% | 75% |
| 豊かな心（徳） | <p>○自他を尊重し、豊かな感性と道徳性を備えた児童の育成</p> <p>【2】</p> <p>○自己有用感を高める。</p> | <p>③児童が学校や学級に貢献する活動を設定し、友達の良さを見出し互いに認め合うことで、自分の良さや周囲に認められていることを実感できるようにする。</p> <p>④自分が努力したことの成果が目に見えて分かるように掲示環境を工夫したり、努力の過程と成果を発信する場を設定したりして、達成感や向上心を持たせるようにする。</p> | <p>・児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思う」「自分のよさが、まわりの人からみとめられていると思う」の自己評価で肯定的回答をしている児童の割合</p> <p>・i-checkにおいて「充実感と向上心」の2項目において肯定的回答をしている児童の割合</p> | 80% | 85% |
| 健やかな体（体） | <p>○基本的な生活習慣や、健康でたくましい体力・気力・耐力を備えた児童の育成</p> <p>【3】</p> <p>○心身ともにしなやかでたくましい体力を育成する。</p> | <p>⑤自らの生活をふり返り、健康課題を見つけ、健康的な生活をめざす。</p> <p>⑥食の自立に向けて、様々な教科や領域の中で、食に関する体験的な活動をしくみ、自ら家庭で実践できるようにする。</p> <p>⑦本校重点目標（走力）の向上と個々の重点目標の克服に向けた運動を取り入れる。</p> | <p>・児童アンケートにおいて、「規則正しく生活しようと努力している」児童の割合</p> <p>・SNSの使い方のきまりがある児童</p> <p>・児童アンケートにおいて、「家族の一員として、食に関する手伝いを自分で気づいてできている。（台ふき、皿洗い、調理など）」の自己評価で肯定的回答をしている児童の割合</p> <p>・本校重点項目について、一昨年の全国平均かつ県平均を超えた児童の割合</p> | 75% | 80% |
| 信頼される学校 | <p>○教職員が協働し、地域・保護者と連携され開かれた学校づくりの推進</p> <p>【4】</p> <p>○地域・保護者へ新鮮な情報を発信する。</p> <p>○働き方改革を実働する。</p> | <p>⑧HP、学校だより、学級通信、ほけんだより等を通して、情報を発信し、確実に伝達する。</p> <p>⑨年休を積極的に取得する。</p> <p>⑩早めに退校する。</p> | <p>・保護者アンケートでの肯定的評価の割合</p> <p>・子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合</p> <p>・時間外勤務が月45時間を超えない教職員の割合</p> <p>・日々の業務の中で充実感を得られている教職員の割合</p> | 75% | 85% |
| | | | | 70% | 90% |
| | | | | 65% | 90% |
| | | | | 75% | 90% |